

2020年度 第2四半期決算説明会 主な質疑応答

※本内容は、書き起こしではなく、説明会での質疑応答の内容を弊社にて簡潔にまとめたものです。あらかじめご了承ください。

Q. 30 ページに記載の「需要に合わせた輸送力の見直し検討」について、終電繰り上げ等においては、相互乗り入れする東京メトロや東急との調整はスムーズに進むものなのか。

A. 終電繰り上げの実施については検討中であるが、相互直通各社とは、通常のダイヤ改正等においても常々協調しており、本件についてもしっかり調整の上、協議を進めていく。また、相互直通以外に、他社線との接続駅も多くあるので、お客様の利便性を損なわないよう対応していく。

Q. ホテル業の収支改善について、32 ページ記載の各種施策によって、どの程度のコスト削減効果が期待できるのか。また、これらの施策が奏功した場合、各ホテルにおける損益分岐点となる稼働率は何%程度になると想定しているのか。

A. 外注先との交渉、部門別の効率化を現在精査中であり、具体的な数値はまだお示しできないものの、損益分岐稼働率はだいたい80%程度とみている。

Q. 23 ページ記載の賃貸業の通期見通しが堅調な要因について、教えてほしい。

A. 第1四半期はお客様の動きが鈍化し、賃料減免等の対応があったが、第2四半期になり、特に首都圏近郊のお客様の動きを中心に、想定より早い回復が見られており、商業施設の売上が7～8割程度まで戻っている。特にソラマチにおいては、観光客の戻りは遅いものの、近隣のお客様の回復が順調である。スカイツリータウンにあるオフィス棟についても、退店、賃料減免等の申し入れもなく、大きな影響はないとみている。

Q. 本年6月に開業した商業施設「東京ミズマチ」の状況は。手ごたえを感じられているのか。

A. 非常に手ごたえを感じている。新型コロナウイルスの影響で2カ月程開業が遅れたものの、浅草と東京スカイツリータウンを結ぶ歩道橋すみだリバーウォークを同時に開設したこともあり、多くの方に来場頂いている。

Q. 34 ページ記載の「グループ内ビッグデータの活用」について、具体的な収益拡大施策を教えてください。

A. TOBU POINT 導入により、これまで不十分であったお客様の行動データの分析が可能になる。こういったサービスが有効であるか検証するとともに、2021 年度導入予定の鉄道乗車ポイントや東武ストアでの活用を推進し、当社エリア内におけるお客様のグループ利便性向上と収益拡大の両面の実現を図っていく。

以 上